福 岡 県 公 安 委 員 会 活 動 状 況

＜定例会の主な議題及び要旨＞

令和３年１月２１日（木）

【報告事項】

１　警察署長会議の開催について

（総務部）

警察本部から「１月２８日に警察署長会議を開催する。今回は、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策として、開催方法をウェブ会議に変更し、公安委員長訓辞及び本部長訓示の後、各部長等から指示を行うこととしている。」旨の報告があった。

公安委員から「現在、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が発出されていることから、本会議については、参加者の感染防止を図ることはもちろん、コロナ禍においても、警察の責務をしっかり果たしていくという共通認識を持つ機会にしてもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「職員の感染防止に十分留意するとともに、コロナ禍においても職員一人一人が本年の県警察の運営指針や三大重点目標等を踏まえ県民の期待にしっかり応えていくという共通認識を図っていく。」旨の説明があった。

２　持続化給付金詐欺事件被疑者の逮捕について

（生活安全部）

警察本部から「南警察署ほか３警察署、少年課及び生活経済課は、持続化給付金制度を悪用し、虚偽内容の申請を行って給付金をだまし取った詐欺事件について、１月１４日、福岡市南区居住の会社役員の男性ほか３人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者の中に少年１人が含まれているが、他にも犯行に関与した少年はいないのか。」旨の発言があり、警察本部から「指南役等の被疑者らには多数の余罪があると見込んでおり、犯行に加担した少年も相当数いるものと思われることから、今後の捜査で全容を解明していく。」旨の説明があった。

公安委員から「申請者についても何らかの犯罪に該当するのか。」旨の発言があり、警察本部から「申請者については、虚偽内容の申請を行った被疑者として捜査を行う。」、「虚偽の申請を行うことも問題であるが、本件のように申請者を勧誘して指南する首謀者が存在していることから、悪質性の高い者から徹底して検挙していく。」旨の説明があった。

３　令和２年中における１１０番通報の状況について

（地域部）

警察本部から「令和２年中における１１０番通報の総受理件数は約５０万５，０００件であり、そのうち、支離滅裂な通報やかけ間違い等を除く有効件数は約３７万６，０００件、１日平均で約１，０００件となっている。また、総受理件数は過去３０年間の統計で最少であり、月別の推移を見ると、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言下では極端に減少している。本年も引き続き迅速かつ適切な１１０番通報等への初動対応に努めていく。」旨の報告があった。

公安委員から「昨年の１１月中も若干減少しているが理由は何かあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「昨年１１月以降、本年に入ってからも通報受理件数の減少傾向は続いており、街頭における犯罪の抑止対策の効果が表れているものと思われる。」旨の説明があった。

公安委員から「救急通報等においては、本来の趣旨とは異なる通報がしばしば問題と

なっているが、１１０番通報についてはどのような状況か。」旨の発言があり、警察本部から「昨年、支離滅裂な通報や緊急性のない相談等の１１０番通報は１０万件を超えている。携帯電話のほか、メールでの１１０番通報が可能であることも、緊急性のない通報が増えている要因とも考えられるため、広報活動を積極的に推進し、適切な１１０番通報の利用に努めていく。」旨の説明があった。